

NOHMI
ワイヤレス連動型
住宅用火災警報器

まもるくん かんたん登録 設置ガイド

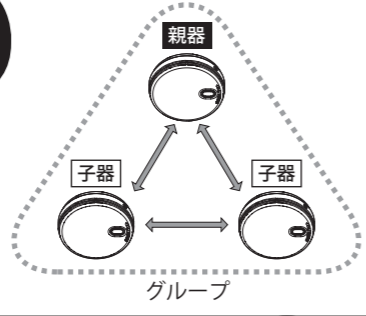
- FSKJ226-M 親器(煙式)
- FSKJ226-C(-J) 子器(煙式)
- FSLJ016-C 子器(熱式)
- FSKJ228-C-CO 子器(煙・CO反応式)

注意
本書は、警報器のグループ登録および設置についての簡易説明書です。製品付属の『取扱説明書』の内容を必ずお読みください。

登録しよう！

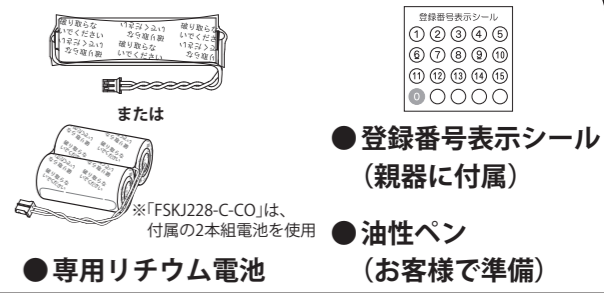
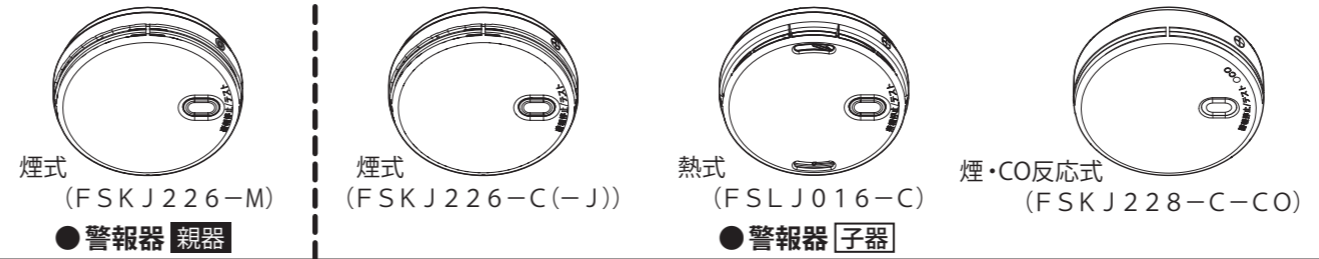
親器に子器を登録します。
登録しないと連動できません。

- 親器に子器を認識させてグループを構成します。



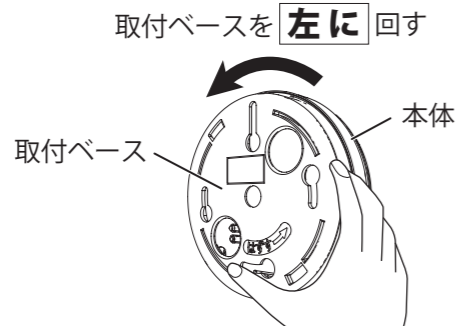
用意するもの

本書は、「煙式」を例に説明しています。「熱式」および「煙・CO反応式」は「煙式」と細部が異なります。

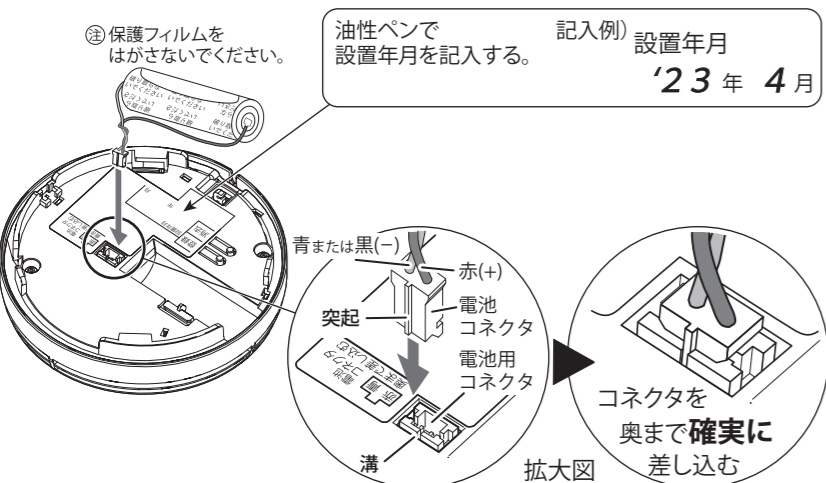


ステップ 1 全ての警報器に電池を取り付ける

取付ベースを
本体からはずします。



電池コネクタを差し込んでから、
専用リチウム電池を取り付けます。

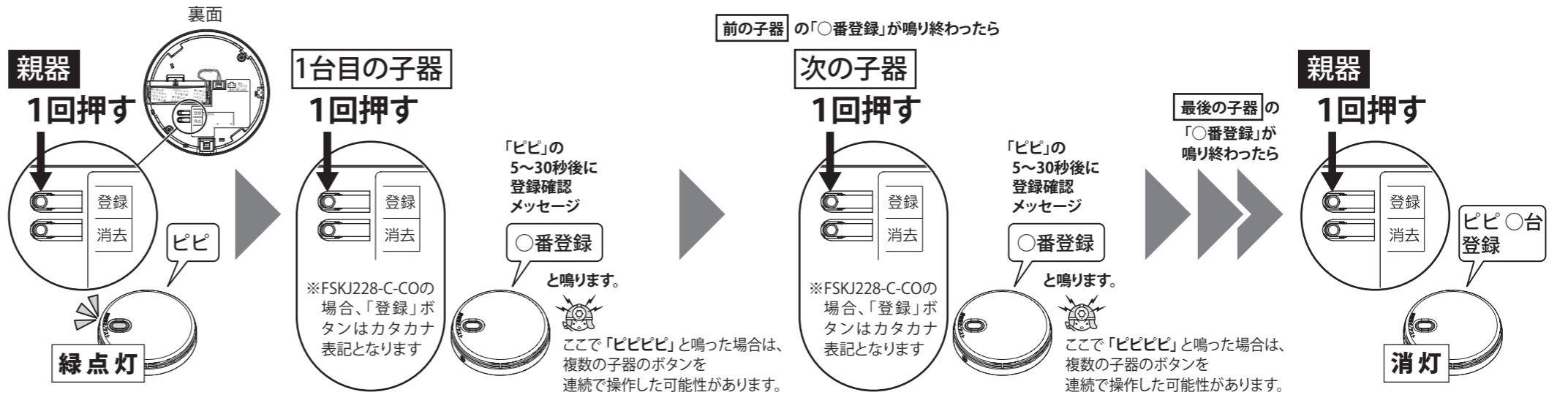


※FSKJ228-C-COの場合
電池コネクタを差し込んだあと、30秒ほどで「正常です」と鳴り、準備が完了します。準備中はCO検知灯が黄点滅し、完了すると消灯します。

- ぬれた手で電池コネクタを接続しない。
- コネクタの向きを間違えて接続しない。

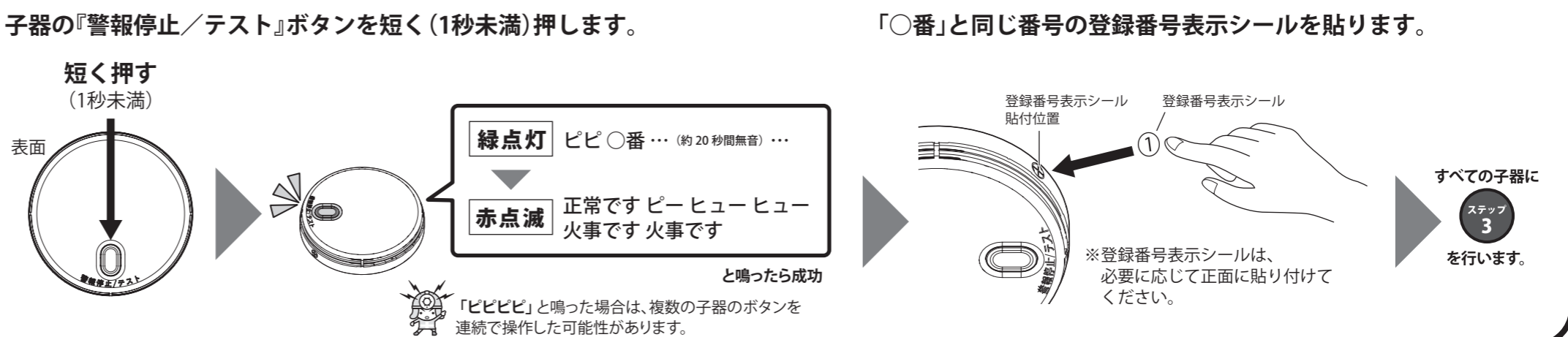
ステップ 2 親器にすべての子器を1台ずつ登録する

- 親器の表示灯が「緑点灯」している間、子器を登録できます。子器の『登録(トウロク)』ボタンを押さない状態で1分以上続くと、親器から「〇台登録」と鳴り登録モードが終了します。
- 親器の表示灯が消えたときは、もう一度親器の『登録』ボタンを押してください。
- 警報音が「ピピピピ」などの場合、『取扱説明書』の 2.1 基本的な登録・消去 の ③ 登録(グループの構成)・消去 を参照のうへ、対処してください。



ステップ 3 すべての子器で1台ずつ登録を確認する

- 「〇番」は、テストをした子器の登録番号が鳴ります。
- 違う警報音(「ピピピピ」など)の場合、『取扱説明書』の 4.2 単独テスト(警報器の状態を確認する) を参照のうへ、対処してください。



すべての子器に
ステップ 3
を行います。

設置しよう!



取付位置を必ず守ってください!

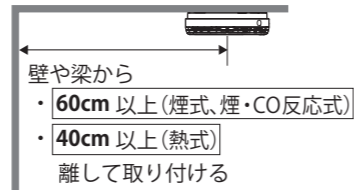
次のような場所への取り付けをおすすめします。

- 煙式** 寝室(居室など)、階段、廊下、台所
- 煙・CO反応式** 寝室(居室など)、階段、廊下、台所
- 熱式** 台所など

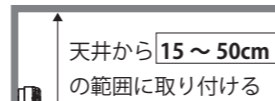
● 各市町村条例により異なります。

警報器は、なるべく部屋の中心に取り付けてください。

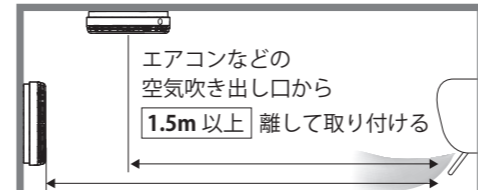
天井取り付けの場合



壁取り付けの場合



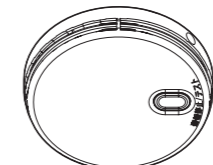
天井・壁 共通



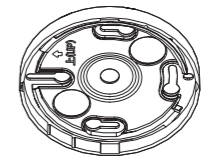
上記を守ったうえで、照明器具から50cm程度離してください。



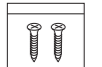
用意するもの



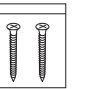
● 登録済みの警報器(本体)



● 取付ベース



一般用(25mm)



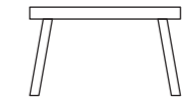
工事店様用(41mm)

● 取付ネジ

③どちらか一方をご使用ください。
※工事店様は内部の補強材に合わせてご使用ください。



● プラスドライバー(お客様で準備)



● 脚立などの安定した台(お客様で準備)

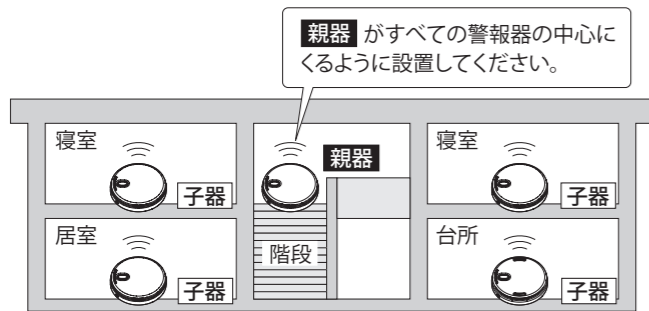
ステップ 4 電波状態を確認する



必ず守る

電波状態を確認してから設置する。
電波状態を確認しなかった場合、電波異常となる可能性があります。

すべての警報器を
設置予定場所の**真下の床**に仮置きします。



親器がすべての警報器の中心にくるように設置してください。

すべての子器で**1台ずつ**
『警報停止/テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。

警報音が鳴り終わってから、次の子器を確認してください。



と鳴ったら成功

- 「○番」は、テストをした子器の登録番号(1~15)が鳴ります。
- 違う警報音(「ピピピピ」など)の場合、『取扱説明書』の

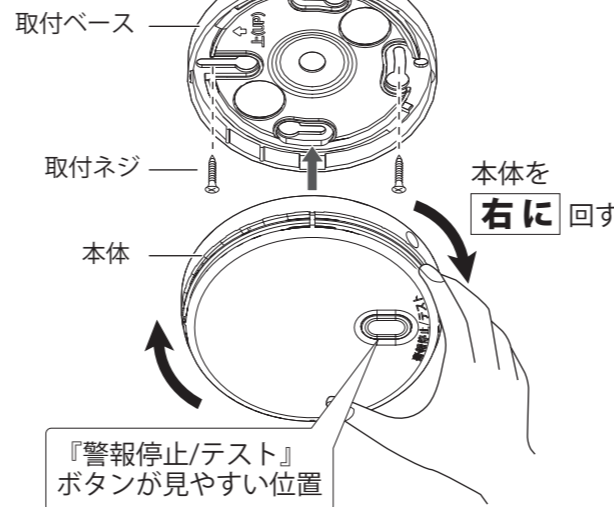
4.2 単独テスト(警報器の状態を確認する)を参照のうえ、対処してください。

ステップ 5 取り付ける(ネジ止めの場合)

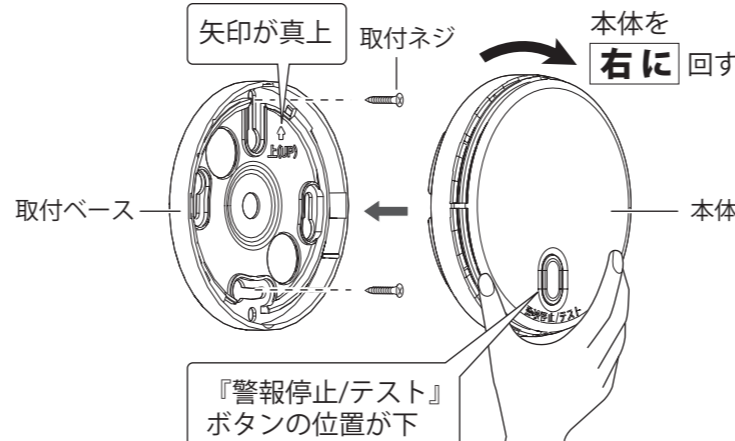
取付ベースをネジ止めし、本体を取り付けます。

※ 付属の取付ネジについて
工事店様以外は「一般用(25mm)」をご使用ください。

天井取り付けの場合



壁取り付けの場合



壁に掛けて設置する場合は?

『取扱説明書』の 3.2 警報器の設置 を参照してください。

ステップ 6 動作を確認する

大きな音が鳴ります。周囲の迷惑にならないよう、夜間などは避けてください。

✓チェック!

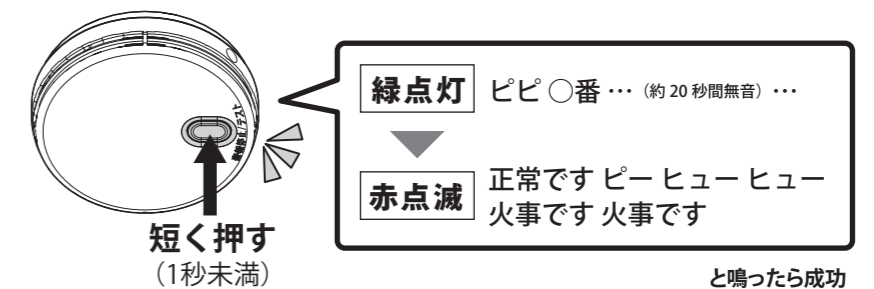
登録した警報器をすべて設置したか確認

登録したが設置しなかった子器がある場合は、登録情報を消去してください。
消去の方法は、『取扱説明書』の 2 登録・消去 を参照してください。

すべての警報器で1台ずつ単独テストをする

警報器の『警報停止/テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。

警報音が鳴り終わってから、次の警報器を確認してください。



- 「○番」は、登録番号(親器は0)が鳴ります。
- 違う警報音(「ピピピピ」など)の場合、『取扱説明書』の 4.2 単独テスト(警報器の状態を確認する)を参照のうえ、対処してください。



必ず守る

単独テストは省略せず、必ず実施する。
各機器の状態は連動テストでは確認できません。

連動テストをする(連動を確認する場合)

いずれか1台の警報器で『警報停止/テスト』ボタンを長く(2秒以上)押します。
すべての警報器が連動して警報音が鳴ると成功です。

- 連動に4~20秒程かかります。

